

追跡

— あの質問のゆくえ — ALT(外国語指導助手) の増員

英語教育の必修化や教科化に備え、
ALTの増員を図ってほしい。
(平成28年9月議会)

答弁

児童生徒へALTの果たす役割は大きい。
増員は、他市町の動向を踏まえ、できるだけ
早い段階で実現していきたい。

どうなった

ALTの配置人数は計画的に増員 現在4名

平成2年8月からALT(外国語指導助手)を配置し、今年でちょうど30年が経過した。これまで、子どもたちのコミュニケーション能力の向上やグローバルな視野の育成に寄与してきた。

新学習指導要領により、小学校では3・4年生は英語活動35時間、5・6年生は英語科70時間が必須化され、令和2年度から全面実施となった。

配置人数は、平成28年度までは1名、平成29年度からは2名、令和元年度は3名、令和2年度からは4名と計画的に配置した。

今年度は、ALT3名を小学校専任とし、ほぼ全ての英語授業でALTが対応できるようになった。また、休み時間など学校内でフレンドリーに会話する子どもたちとALTの姿も見受けられ、自然にコミュニケーションを取る雰囲気も醸成されている。さらに、保育園・こども園にも訪問し、幼少期から英語に触れることができる環境を整えている。

今後とも、「主体的・対話的で深い学び」につながる英語教育、そして楽しく学べる英語となるよう、ALTの積極的活用と教員の連携した取り組みを進めていく。



計画的な取り組みを評価する。更なる英語教育の充実を期待する。